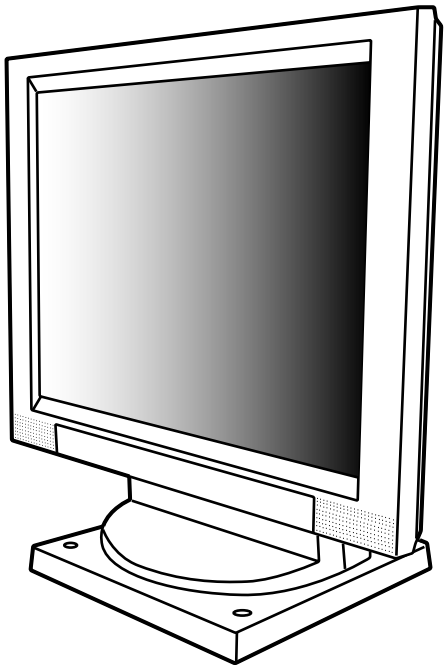
SHARP®

取扱説明書
液晶カラーモニター

形名 LL-151TC



もくじ

		ページ
はじめに	**安全にお使いいただくために**	**3**
	付属品の確認	**5**
	各部の名前とはたらき	**6**
準　備	**接続・電源入／切**	**7**
	コンピュータの接続	7
	シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)	7
	オーディオケーブルの接続	8
	電源の接続	9
	電源の入れ方	9
	電源の切り方	9
タッチパネル	**タッチパネルの使用準備**	**10**
	タッチパネルドライバのインストール	10
	キャリブレーション(位置合わせ)の実行	10
	タッチパネルドライバのアンインストール(削除)	10
	タッチパネルの操作について	11
画面調整	**画面・スピーカー音量の調整**	**12**
	バックライトの明るさ調整	12
	スピーカーの音量調整	12
	画面の調整	**13**
	画面の自動調整	13
	画面の手動調整	14
補　足	**お手入れ・保管・アフターサービスについて**	**17**
	お手入れのしかた	17
	保管にあたって	17
	故障かな？と思ったら	17
	アフターサービスについて	18
	お客様ご相談窓口のご案内	**19**
	仕様	**20**
	セットアップ情報とICCプロファイルについて	**23**
	VESA規格準拠アームの取り付け方	**26**

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※ 本機は付属品も含め日本国内（AC100V）用です。海外では使えません。

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、詳しくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について

※ 本書では、Microsoft Windows XP Home Edition と Microsoft Windows XP Professional を「Windows XP」、Microsoft Windows 2000 を「Windows 2000」、Microsoft Windows Millennium Edition を「Windows Me」、Microsoft Windows 98 を「Windows 98」、Microsoft Windows 95 を「Windows 95」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。
※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※ MicroTouch、MicroTouch ロゴ、Microcal、ThruGlass、TouchPen、TouchWare は、米国をはじめ多くの国で 3M Touch Systems Inc. の商標または登録商標です。
※ そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い

※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠ **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味　（絵表示の一例です。）

⚠ 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

記号は、**してはいけない**ことを表しています。

記号は、**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。
電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。
火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 警 告

アース接続してください。アース接続がされないで万一、故障した場合は感電の恐れがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

⚠ 注 意

ACアダプターおよび電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

ACアダプターの取り扱いにあたっては、次のことをお守りください。取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 絶対に分解しないでください。内部には高圧部分があり、触ると危険です。
- ACアダプターは屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 付属のACアダプターは他の機器に使用しないでください。

⚠注 意

電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが緩く電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

⚠注 意

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。

健康のために、次のことをお守りください。

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

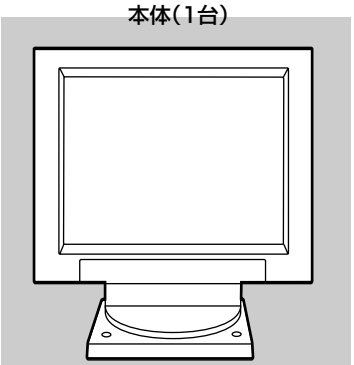
移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。（もよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。）
内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。

付属品の確認

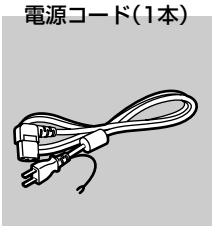
箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

本体(1台)



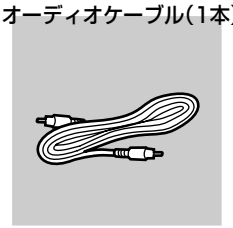
ACアダプター収納済み
アナログ信号ケーブル接続済み

電源コード(1本)



シリアル接続ケーブル(1本)

オーディオケーブル(1本)



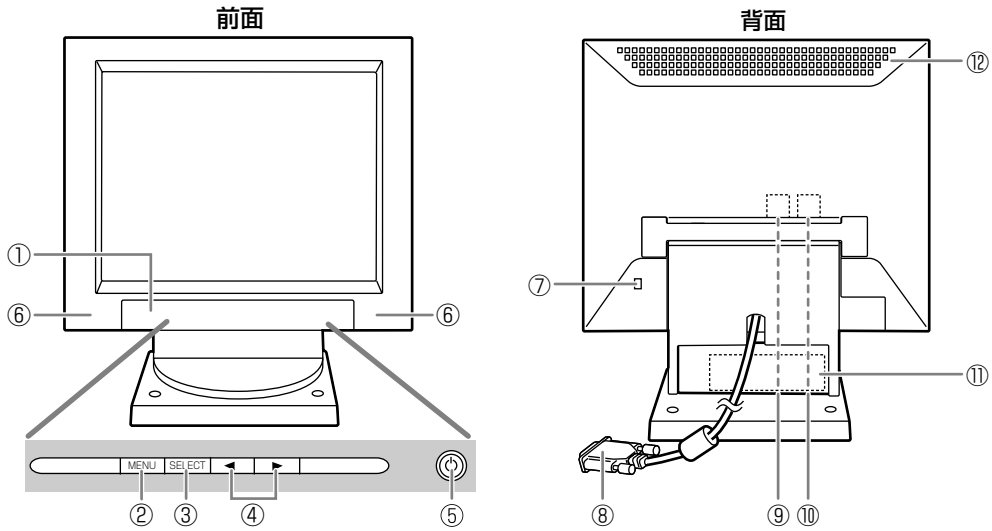
CD-ROM(1枚)

アプリケーションディスク
(ユーティリティー/タッチパネルドライバ)

- 取扱説明書(1部)
- 保証書(1部)

※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
※ CD-ROM 内の液晶モニターに関するユーティリティーの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。
※ タッチパネルドライバ (TouchWare) の著作権は、3M Touch Systems Inc. が保有しています。

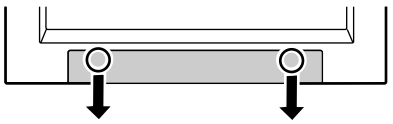
各部の名前とはたらき



① 操作ボタンカバー ..... 操作ボタンを使うときは外してください。
② MENU ボタン ..... 調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。
③ SELECT ボタン ..... 調整メニューが表示されているとき、調整項目の選択に使います。
④ ◀ ▶ ボタン ..... 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさやスピーカーの音量を調整します。
⑤ 電源ボタン（ランプ） ..... 電源の入／切を行います。
通常表示時はボタンの周囲が緑色に、待機時はオレンジ色に点灯します。
⑥ スピーカー ..... 本機と接続している外部機器から入る音声を聞くことができます。
⑦ 盗難防止ホール（ K ） ..... 市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。盗難防止ホールは、Kensington 社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
⑧ アナログ信号ケーブル ..... コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。
⑨ 音声入力端子 ..... カバーの下に音声入力端子があります。付属のオーディオケーブルを使って、コンピュータの音声出力端子と接続します。
⑩ シリアルコネクタ（タッチパネル用） ..... カバーの下にシリアルコネクタがあります。付属のシリアル接続ケーブルを使って、コンピュータのシリアルコネクタと接続します。
⑪ AC アダプター ..... スタンドの中に AC アダプターが収納されています。
⑫ 通風孔 ..... 機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

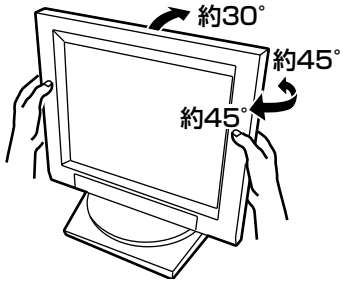
■操作ボタンカバーの外し方

下図の○印付近を強く押さえながら、下げてください。



■角度調整

※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。パネル部分に手を当てて力を加えると、破損の原因になります。



接続・電源入／切

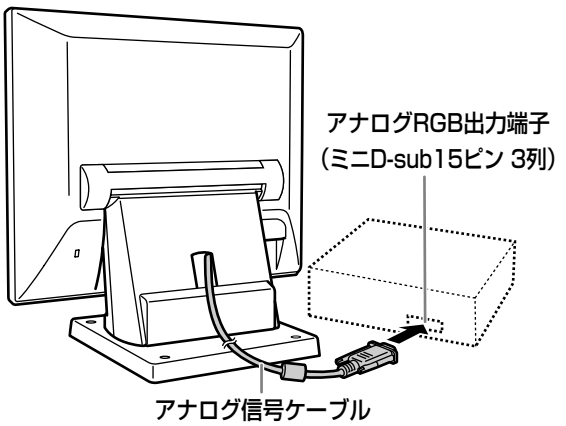
！ ご注意

※ 接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

コンピュータの接続

アナログ信号ケーブルをコンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。



※ コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

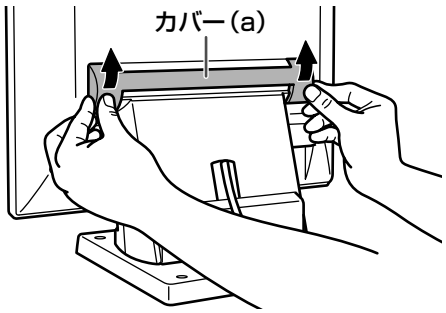
シリアル接続ケーブルの接続（タッチパネル用）

タッチパネルを使用する場合は、付属のシリアル接続ケーブルを使ってコンピュータのシリアルコネクタと接続します。

1. 電源コードが接続されている場合は、電源コードを取り外す。

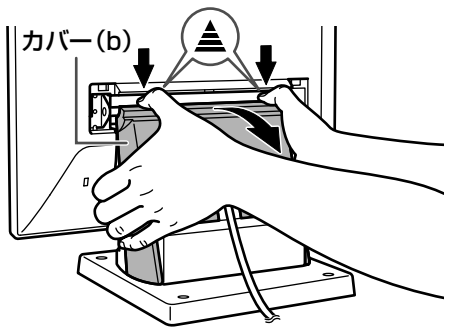
2. 背面のカバー (a) を外す。

カバー両側の下のほうを持ち、静かにやや上向きに引きます。

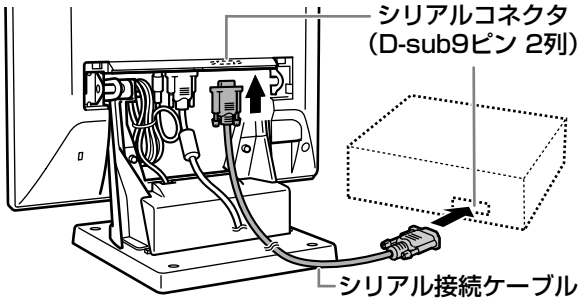


3. カバー (b) を外す。

カバー上部の両側の ≜ 位置を押さえながら、上部を静かに手前に引きます。



4. シリアル接続ケーブルを本機とコンピュータのシリアルコネクタに接続する。

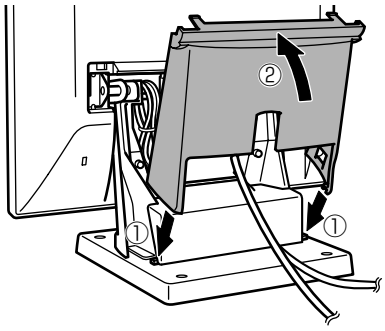


※ コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

5. カバー (b) を取り付ける。

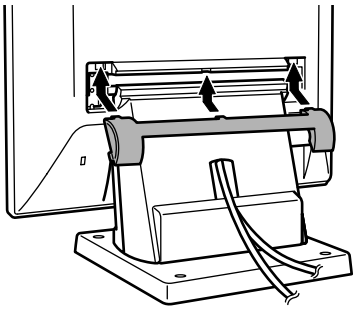
1）カバーの開口部にケーブルを通して、カバー下部の両側のツメを突起部に差し込みます。

2）カバー上部の両側のツメが差し込まれるまで、上部を静かに押さえます。

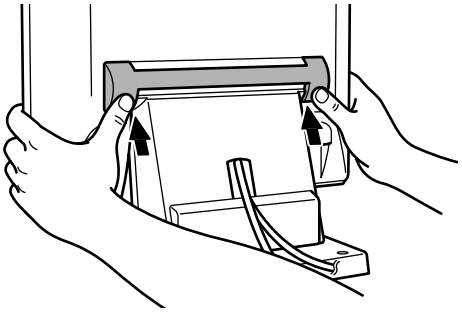


6. カバー (a) を取り付ける。

1）上部の３箇所のツメを穴に入れます。



2）カバー両側を静かに押し込みます。



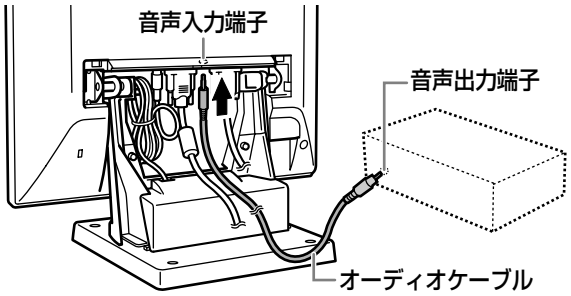
オーディオケーブルの接続

付属のオーディオケーブルを使って、コンピュータの音声出力端子と接続します。

1. 背面のカバーを外す。

7ページ「シリアル接続ケーブルの接続 (タッチパネル用)」の手順１～３をご覧ください。

2. オーディオケーブルを本機とコンピュータの音声端子に接続する。



3. 背面のカバーを取り付ける。

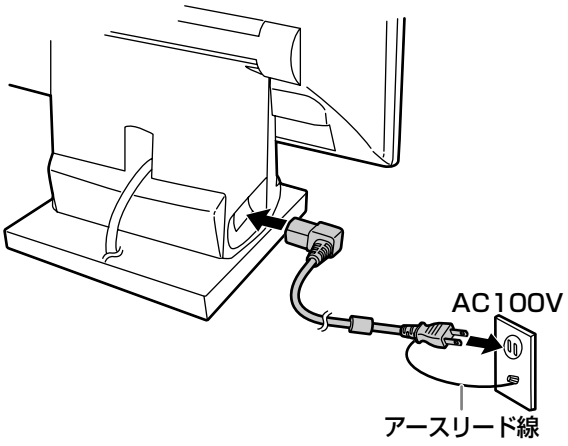
左記「シリアル接続ケーブルの接続 (タッチパネル用)」の手順５～６をご覧ください。

電源の接続

> ⚠ 注意 **電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源コードと AC アダプター（スタンドに収納済み）は、必ず付属のものを使用してください。

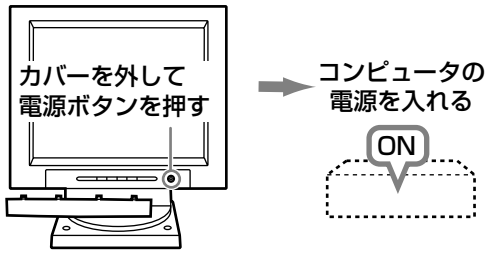
1. 付属の電源コードを AC アダプターに差し込む。
2. 電源プラグを AC100V のコンセントに差し込む。



> ⚠ 警告 **アース接続してください。**アース接続がされないで万一、故障した場合は感電の恐れがあります。
> - アースリード線をコンセントの他の電極に挿入･接触させないでください。
> - アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

電源の入れ方

1. 本機の電源ボタンを押す。
2. コンピュータの電源を入れる。
電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。



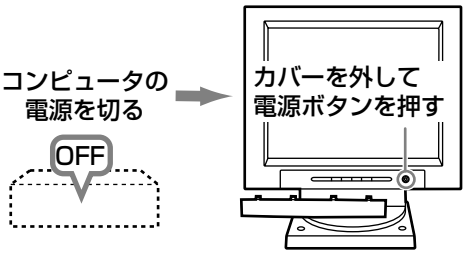
※ 電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

? Memo

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整（13 ページ）を行ってください。
※ お使いのコンピュータやＯＳによっては、接続先のコンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になる場合があります。（23 ページ）
※ ノートパソコンと接続して、ノートパソコンの画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

電源の切り方

1. コンピュータの電源を切る。
2. 本機の電源ボタンを押す。
電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

? Memo

※ 電源ボタンを押して電源を切っても、電源コードを抜くか、コンピュータの電源を切るまでは、タッチパネルの動作は継続します。

タッチパネルの使用準備

タッチパネル対応OS：Windows 95/98/2000/Me/XP

タッチパネルを使うには、以下の操作が必要です。
1. ケーブルの接続
   アナログ信号ケーブル、シリアル接続ケーブルを接続します。（7ページ）
2. タッチパネルドライバのインストール
3. キャリブレーション（位置合わせ）の実行

！ ご注意

※タッチパネルドライバをインストールすると、マウスの特殊な機能が使用できなくなる場合があります。

タッチパネルドライバのインストール

タッチパネルのご使用にあたっては、ドライバのインストール中に表示される「ソフトウェア使用契約書」をよくお読みのうえ、同意いただく必要があります。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. CD-ROM内の「TouchPanel」、「Disk1」フォルダの「Setup.exe」をダブルクリックする。
   タッチパネルドライバのインストール用プログラムが起動します。画面の指示に従って、操作してください。
   ※「タッチスクリーンコントローラタイプ」は「シリアル（RS-232C）」を選んでください。
   ※「キャリブレーション方法」は「2ポイントキャリブレーション」を選んでください。

必ず「2ポイントキャリブレーション」を選んでください。本機では4ポイントキャリブレーションには対応していません。4ポイントキャリブレーションでは、タッチ位置とカーソルが大きくずれ、正しく動作しません。

3. Windows 95/98/Meの場合、コンピュータを再起動する。
   Windows 2000/XPの場合は再起動する必要はありません。手順4へお進みください。
4. キャリブレーションを行う。
   メッセージが表示されますので、「キャリブレーション」をクリックして、右記「キャリブレーション（位置合わせ）の実行」の手順3～6に従ってキャリブレーションを行ってください。
   ※ 必ずキャリブレーションを行ってください。
   キャリブレーションを行わないと、タッチパネルは正しく動作しません。

？ Memo

※ 4ポイントキャリブレーションを行った場合は、マウスやキーボードを使ってシステムを再起動し、キャリブレーションを行ってください。

キャリブレーション（位置合わせ）の実行

初めて使用するときや、モニターの解像度を変更したときなど、キャリブレーション（位置合わせ）を実行してください。

1.「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」から「TouchWare」、「MicroTouch TouchWare」を選ぶ。
2.「キャリブレーション」タブを選び、「キャリブレーション」をクリックする。
3. 画面に表示されたターゲット（イメージ）の一方を指先で完全に覆うようにタッチする。
   タッチすると「HOLD」と表示されます。「Touch Enable」と表示されるまでタッチし続けてください。
   ・ タッチパネルを実際に利用する位置で、ターゲットを真正面から見てください。
   ・ ターゲットを指先でしっかりと正確にタッチしてください。また、他の指が画面に触れないよう注意してください。
4. もう一方のターゲットも同様にタッチする。
5. キャリブレーション結果の確認をする。
6.「終了」をクリックしてキャリブレーションを終了する。

タッチパネルドライバのアンインストール（削除）

一度システムを再起動し、再起動直後の状態からアンインストールを行ってください。

1.「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」から「TouchWare」、「アンインストールMicroTouch TouchWare」を選ぶ。
   アンインストール用プログラムが実行されます。画面の指示に従って操作してください。
2. コンピュータを再起動する。

タッチパネルの操作について

※ タッチパネルは指先で操作してください。
※ 先の硬いものや鋭利なもので押したり、こすったりしないでください。
※ 接触面積が大きい場合（手のひらで押すなど）、正しく入力できないことがあります。
※ コンピュータがシステムスタンバイ状態のときは、タッチパネルを押しても復帰できない場合があります。その場合は、マウスやキーボードをお使いください。
※ 付属 CD-ROM 内の「TouchPanel_ReadmeJ.txt」や「TouchPanel」フォルダ内の「TouchWare ユーザーガイド」も併せてお読みください。
ただし、本機では以下の点にご注意ください。
・ 本機は、シリアルコントローラタイプです。
・ Windows NT4.0 には対応していません。
・ 4 ポイントキャリブレーションには対応していません。
・「タッチスクリーンオプション」の「現在の設定」には対応していません。
・「DOS のフルスクリーン表示」には対応していません。

画面・スピーカー音量の調整

1. 初めに自動調整をする。（13ページ）
2. 必要に応じて手動調整をする。（14ページ）

? Memo

※ 調整内容は、電源を切っても保持されます。

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. MENU ボタンと SELECT ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。

画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

画面調整メニュー（クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置）の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を入れる。

2. MENU ボタンと ◀ ボタンの両方を押す。

画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

※「リセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

※ 調整ロックが設定されている場合、リセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■調整ロック機能

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして（ロック設定）、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。

画面に「調整ロックを設定しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。

3. ▶ ボタンを押す。

調整ロックの解除

1. 本機の電源を切る。

2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。

画面に「調整ロックを解除しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。

3. ▶ ボタンを押す。

バックライトの明るさ調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。

2. SELECT ボタンで「明るさ」を選択する。

3. ◀ ボタン（暗くする）、▶ ボタン（明るくする）を押して調整する。

調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

スピーカーの音量調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。

2. SELECT ボタンで「音量」を選択する。

3. ◀ ボタン（小さくする）、▶ ボタン（大きくする）を押して調整する。

調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

画面の調整

画面の自動調整

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

■調整のための画面表示について

付属 CD-ROM 内の調整用パターンを利用します。
調整用パターンを利用しないときは、画面全体が明るくなるような画像を表示してください。

調整用パターンの呼び出し方

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

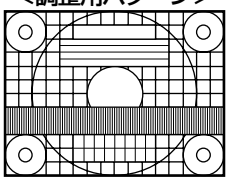
1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。

2.「マイコンピュータ」の CD-ROM を開く。

3.「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。

調整用パターンが表示されます。

<調整用パターン>



調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

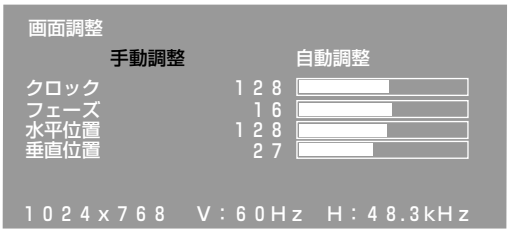
? Memo

※ 使用するコンピュータの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。（入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。）

■自動調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。

画面調整メニューが表示されます。



2.▶ ボタンを押して、「自動調整」を選択する。

画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。
（これで自動調整は完了です。）

3. MENU ボタンを 4 回押して、調整メニューを消す。

? Memo

※ 通常は、自動調整だけでご使用いただけます。

※ 1 回の自動調整では、正しく調整できないことがあります。その場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返してみてください。

※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。（14 ページ）

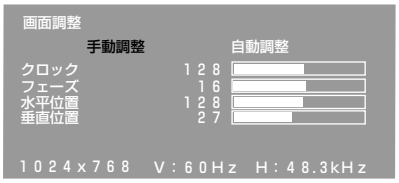
- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき（画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。）
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど（自動調整では正しく調整できないことがあります。）

※ 動画や MS-DOS プロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

画面の手動調整

1. **調整用の画面を表示する。**（13ページ）
2. **MENU ボタンを押して、調整メニューを表示する。**

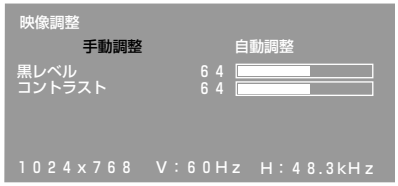
画面調整メニュー



SELECT ボタンで調整項目を選びます。

⬇ MENU ボタン

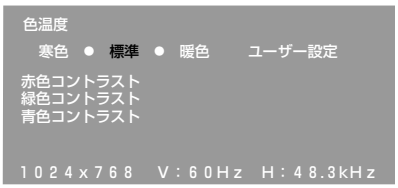
映像調整メニュー



SELECT ボタンで調整項目を選びます。

⬇ MENU ボタン

色温度メニュー



◀ または ▶ ボタンで項目を選びます。

⬇ MENU ボタン

モード選択メニュー

SELECT ボタンで調整項目を選びます。

⬇ MENU ボタン

調整メニュー終了

? Memo

※ 調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後、自動的に消えます。

※ 本書では、調整用パターンを利用した調整のしかたを基本に説明します。

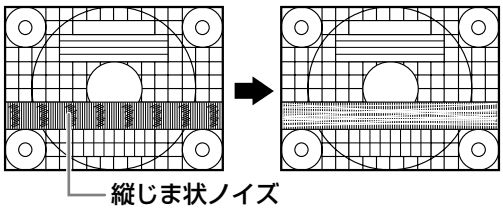
■画面調整メニュー

自動調整

▶ ボタンで選択すると、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」が自動的に調整されます。

クロック

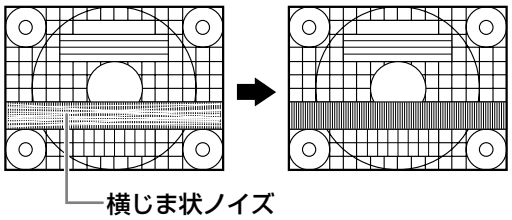
調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように ◀ または ▶ ボタンで調整します。



フェーズ（位相）

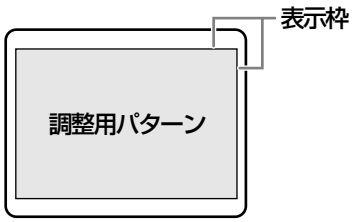
調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように ◀ または ▶ ボタンで調整します。

※「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整した後で行ってください。



水平位置、垂直位置

調整用パターンの全体が画面内に表示されるように、左右（水平位置）、上下（垂直位置）の位置を ◀ または ▶ ボタンで調整します。



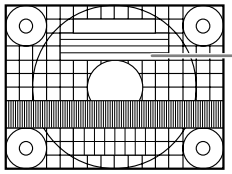
■映像調整メニュー

自動調整

▶ ボタンで選択すると、「黒レベル」「コントラスト」が自動的に調整されます。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

黒レベル

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを ◀ または ▶ ボタンで調整します。



コントラスト

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように ◀ または ▶ ボタンで調整します。

? Memo

自動調整（オートゲインコントロール機能）について

※ 画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に調整します。

※ 調整用パターンを利用しないときは、5mm × 5mm 以上の白い部分と黒い部分がある画像を表示してください。表示がない場合は正しく調整できないことがあります。

※ コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は、手動で調整してください。

※「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

■色温度メニュー

寒色 ..... 標準設定よりも青みがかった色合い

- ..... 標準設定よりもやや青みがかった色合い

標準 ..... 標準設定

- ..... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い

暖色 ..... 標準設定よりも赤みがかった色合い

ユーザー設定

「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。SELECT ボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選んで調整します。

赤色コントラスト ..... ◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色

緑色コントラスト ..... ◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色

青色コントラスト ..... ◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

? Memo

※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。

■モード選択メニュー

? Memo

※ 入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。

OSD 画面水平位置

調整メニューの表示位置を ◀ または ▶ ボタンで左右に動かします。

OSD 画面垂直位置

調整メニューの表示位置を ◀ または ▶ ボタンで上下に動かします。

拡大補正レベル

拡大表示の画像のシャープさを ◀ または ▶ ボタンで調整します。

※ 解像度 1024 × 768 ドット未満の画面を表示させた場合、画面全体に拡大表示されます。
（アスペクト比（縦横比）が変わることがあります。）

OSD 言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。

① 「OSD 言語選択」を選択して ▶ ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。
② SELECT ボタンで言語を選択する。
③ MENU ボタンを押す。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■タッチパネル部分

タッチパネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

！ ご注意

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

？ Memo

※ 本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

！ ご注意

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります（故障ではありません）。
その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない（電源ランプ消灯）

※ 電源コードは正しく接続されていますか。
（9ページ）

画面に何も表示されない（電源ランプ点灯）

※ コンピュータと正しく接続されていますか。
（7ページ）
※ コンピュータの電源は入っていますか。
※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（21ページ）
※ コンピュータの省電力機能が動作していませんか。
キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。

操作ボタンが効かない

※ 調整ロックが設定されていませんか。（12ページ）

画面が乱れている

※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（21ページ）
※ 画面自動調整を行ってください。（13ページ）
※ お使いのコンピュータで垂直周波数（リフレッシュレート）が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。（21ページ）

音が聞こえない

※ オーディオケーブルは正しく接続されていますか。（8ページ）
※ 音量調整を行ってください。（12ページ）
※ 本機が待機状態（電源ランプがオレンジ色）になっているときは、スピーカーの音は鳴りません。

タッチパネルで入力できない

※ シリアル接続ケーブルが正しく接続されていますか。（7ページ）
※ タッチパネルドライバがインストールされていますか。（10ページ）
※ 位置合わせを行いましたか。（10ページ）
本機では、2ポイントキャリブレーションに対応しています。4ポイントキャリブレーションを行った場合は、マウスやキーボードを使ってシステムを再起動し、もう一度キャリブレーションを行ってください。
※ 接触面積が大きい場合（手のひらで押した場合など）、正しく入力できないことがあります。
※ 指先で操作していますか。
指先以外では、操作できない場合があります。
※ コンピュータがシステムスタンバイ状態のときは、タッチパネルを押しても復帰できない場合があります。その場合は、マウスやキーボードをお使いください。

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から1年間です（ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません）。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を**「お持ち込み」**のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内（次ページ）

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記のご相談窓口へご連絡ください。
※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。（2004年6月現在）

修理ご相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

＜受付時間＞　月曜日～土曜日：午前9時～午後5時40分（日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

北海道
札幌技術センター (011)641-0751
〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17
釧路 (0154)24-8191
〒085-0051 釧路市光陽町8-13
函館 (0138)52-5190
〒040-0001 函館市五稜郭町31-17
帯広 (0155)21-2881
〒080-0011 帯広市西1条南26-19-1
旭川技術センター (0166)22-8284
〒070-0031 旭川市一条通4-左10

青森
青森技術センター (017)738-7778
〒030-0121 青森市妙見3-3-4
八戸 (0178)45-2631
〒031-0802 八戸市小中野2-8-16

岩手
岩手技術センター (019)638-6085
〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1

秋田
秋田技術センター (018)865-1258
〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-56

宮城
仙台技術センター (022)288-9161
〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27

福島
福島技術センター (024)946-0196
〒963-0111 郡山市安積町荒井字方八丁33-1
いわき (0246)28-2487
〒970-8033 いわき市自由ケ丘37-10

新潟
新潟技術センター (025)284-6023
〒950-0993 新潟市上所中1-7-21
長岡 (0258)23-1850
〒940-1104 長岡市摂田屋町字崩2600

栃木
宇都宮技術センター (028)634-0256
〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41

群馬
前橋技術センター (027)252-7311
〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7

茨城
水戸技術センター (029)243-0909
〒310-0851 水戸市千波町1963

埼玉
埼玉技術センター (048)666-7148
〒330-0038 さいたま市宮原町2-107-2
埼玉東技術センター (048)979-6459
〒343-0804 越谷市大字南萩島346-1

千葉
千葉技術センター (043)299-8855
〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
西千葉技術センター (047)368-8346
〒270-2231 松戸市稔台295-1

東京
東京フィールドサポートセンター
第1技術センター (03)3260-5253
〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8
第2技術センター (03)3624-7476
〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3
第3技術センター (03)3973-7789
〒174-0074 東京都板橋区東新町1-33-11
西東京技術センター (042)583-1993
〒191-0003 日野市日野台5-5-4

山梨
山梨 (055)228-3833
〒400-0049 甲府市富竹2-1-17

神奈川
横浜技術センター (045)753-9540
〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23
相模原技術センター (045)753-9540
〒229-1122 相模原市横山2-2-12
湘南技術センター (045)753-9540
〒254-0013 平塚市田村4-14-36

長野
松本技術センター (0263)27-1636
〒399-0002 松本市芳野8-14
長野技術センター (026)293-6360
〒388-8014 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1

富山
富山技術センター (076)451-3933
〒930-0997 富山市新庄北町5-63

石川
金沢技術センター (076)249-9033
〒921-8801 石川郡野々市町御経塚4-103

福井
福井 (0776)53-6050
〒918-8206 福井市北四ツ居町625

岐阜
岐阜技術センター (058)274-7996
〒500-8358 岐阜市六条南3-12-9

静岡
静岡技術センター (0543)44-5621
〒424-0067 静岡市清水鳥坂1170-1
沼津 (0559)24-1028
〒410-0062 沼津市宮前町11-4
浜松技術センター (053)465-0735
〒430-0803 浜松市植松町1476-2

愛知
名古屋技術センター (052)332-2758
〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5
豊橋技術センター (0532)54-1830
〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1
岡崎 (0564)25-0611
〒444-0065 岡崎市柿田町1-21

三重
三重技術センター (059) 231-1573
〒514-0102 津市栗真町屋町字蒲池328

京都
京都技術センター (075)681-9551
〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48
北近畿 (0773)23-6996
〒620-0054 福知山市末広町6-13

滋賀
滋賀技術センター (077)543-2331
〒520-2151 大津市栗林町11-35

大阪
大阪フィールドサポートセンター
カスタマシステム技術部 (06)6796-5430
〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
堺技術センター (072)245-5855
〒590-0824 堺市老松町1-39
北大阪技術センター (072)634-4683
〒567-0831 茨木市鮎川5-15-3

兵庫
神戸技術センター (078)452-1762
〒658-0082 神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
阪神技術センター (06)6421-2304
〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10
姫路技術センター (0792)66-8295
〒671-2222 姫路市青山5-7-7

奈良
奈良技術センター (0743)53-2023
〒639-1103 大和郡山市美濃庄町492

和歌山
和歌山技術センター (073) 445-6298
〒641-0031 和歌山市西小二里2-4-91

島根
松江技術センター (0852)21-6110
〒690-0017 松江市西津田3-1-10

鳥取
鳥取 (0857)28-4222
〒680-0942 鳥取市湖山町東4-27-1

岡山
岡山技術センター (086)292-5830
〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾828

広島
広島技術センター (082)874-6100
〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
東広島 (0824)28-3065
〒739-0142 東広島市八本松東4-3-30
福山技術センター (084)952-0736
〒720-0841 福山市津之郷町大字津之郷272-1

山口
山口技術センター (083)972-4525
〒754-0024 吉敷郡小郡町若草町4-12

香川
高松技術センター (087)823-4980
〒760-0065 高松市朝日町6-2-8

徳島
徳島 (088)625-8840
〒770-0813 徳島市中常三島町3-11-14

高知
高知 (088)883-7039
〒781-8104 高知市高須1-14-43

愛媛
松山技術センター (089)973-0121
〒791-8036 松山市高岡町178-1

福岡
福岡技術センター (092)572-2617
〒816-0081 福岡市博多区井相田2-12-1
南福岡 (0942)45-4551
〒839-0812 久留米市山川安居野3-12-47
北九州技術センター (093)592-6510
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町6-12

大分
大分技術センター (097)552-2164
〒870-0913 大分市松原町3-5-3

長崎
長崎技術センター (0957)53-3858
〒856-0817 大村市古賀島町613-3

熊本
熊本技術センター (096)372-1251
〒862-0975 熊本市新屋敷3-15-17

鹿児島
鹿児島技術センター (099)259-0628
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1

宮崎
宮崎 (0985)28-8371
〒880-0007 宮崎市原町4-12

沖縄シャープ電機株式会社

＜受付時間＞　月曜日～金曜日：午前9時～午後5時40分（土・日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

沖縄
沖縄シャープ電機(株) (098)861-0866
〒900-0002 那覇市曙2-10-1

シャープ製品に対するご意見・ご要望やお問い合わせは、下記ご相談窓口へ

お客様相談センター（一般ご相談窓口）

シャープ株式会社

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時　※日曜日・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室　電話 (043)299-8021　FAX 043-299-8280　〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室　電話 (06)6794-8021　FAX 06-6792-5993　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

仕　様

■製品仕様

機種名
LL-151TC

液晶表示素子
15 型（対角 38cm）　TFT カラー液晶

最大解像度
XGA　1024 × 768

最大表示色
約 1619 万色（6 ビット＋ FRC）
※ FRC：Frame Rate Control

画素ピッチ
水平 0.297mm ×垂直 0.297mm

最大輝度
220cd/m^2
※ 画面の輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。

コントラスト比
350：1

視野角
左右 160°／上下 135°（コントラスト比≧ 5）

表示画面サイズ
横 304.1mm ×縦 228.1mm

映像入力信号
アナログ RGB（0.7Vp-p）[75 Ω]

同期入力信号
水平／垂直セパレート（TTL：正／負）、
シンク・オン・グリーン、
コンポジット・シンク（TTL：正／負）

拡大補正
デジタルスケーリング（VGA/SVGA などを XGA に補正して拡大表示）
※ 全画面への拡大表示のみ。1：1 での表示、アスペクト比（縦横比）固定での拡大表示はできません。

プラグ & プレイ
VESA DDC2B 対応

パワーマネージメント
VESA DPMS 準拠

スピーカー出力
1W ＋ 1W

コンピュータ信号入力端子
ミニ D-sub15 ピン（3 列）

音声入力端子
φ 3.5mm ミニステレオジャック

画面角度調整
チルト：上向きに約 0 ～ 30°
スイーベル：左右に約 45°

タッチパネル方式
静電容量方式

タッチパネル透過率
約 88%

タッチパネル PC 接続端子
シリアルコネクタ　D-sub9 ピン（2 列）

電源
AC100V　50/60Hz（専用 AC アダプター使用）

使用温度条件
5 ～ 35℃

消費電力
21W（音声入力なし）、最大 25W、待機時 2W
（専用 AC アダプター使用時）

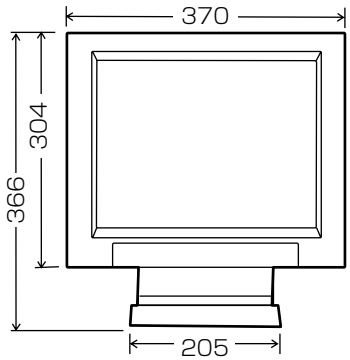
外形寸法
幅約 370mm ×奥行約 215mm ×高さ約 366mm

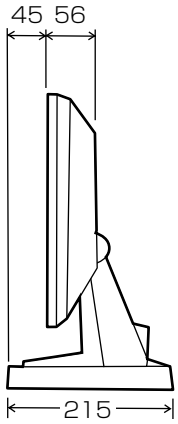
質量
約 5.4kg（AC アダプター、アナログ信号ケーブル含む）
約 3.6kg（ディスプレイ部のみ）

梱包時寸法
幅約 470mm ×奥行約 465mm ×高さ約 297mm

梱包時質量
約 8kg

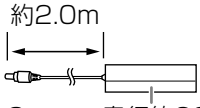
■外形寸法図 （単位 mm）





付属ケーブルの長さ

アナログ信号ケーブル　：約 2.0m*
(* アナログ RGB 入力端子からの長さ)
シリアル接続ケーブル　：約 2.0m
オーディオケーブル　：約 2.0m
電源コード　：約 2.0m
専用 AC アダプター



幅約125.0mm ×奥行約60.0mm ×高さ約33.0mm

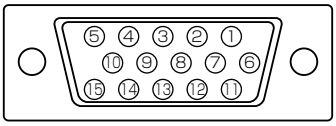
■対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA ・IBM AT 互換機	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz

※ 推奨解像度は、1024 × 768 です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号（同期信号）が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■アナログ信号入力端子のピン配列

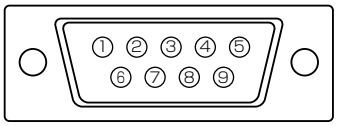
（ミニD-sub15ピン）



番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■シリアルコネクタのピン配列

（D-sub9ピン）



番号	機　能	番号	機　能
1	キャリア出力	6	データセット出力
2	送信データ出力	7	送信要求入力
3	受信データ入力	8	送信可能出力
4	データ端末レディ入力	9	未使用
5	GND		

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、Energy Starに準拠しています。パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピュータもこれらの規格に適合している必要があります。

DPMS：Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	25W	あり	あり
STANDBY	無表示	2W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

Energy Star：

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

■DDC（プラグ&プレイ）

本機は、VESAのDDC（Display Data Channel）規格をサポートしています。
DDCとは、モニターとコンピュータのプラグ&プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータがDDCに対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

セットアップ情報とICCプロファイルについて

お使いのコンピュータやOSによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になることがあります。その場合は、下記の手順でセットアップ情報をインストールしてください。（お使いのコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。）

ICCプロファイルとは…

ICC（インターナショナル カラー コンソーシアム）プロファイルは、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルです。ICCプロファイルに対応したアプリケーションで色の再現性を高めます。

※ ICCプロファイルは、Windows 98/2000/Me/XPに対応しています。
※ Windows 98/2000/Me/XPでセットアップ情報をインストールすると、ICCプロファイルも同時にインストールされます。ICCプロファイルだけをインストールしたいときは、25ページの「ICCプロファイルのインストール」をご覧ください。
※ ICCプロファイルを使用する場合は「色温度」を「標準」に設定してください。

■セットアップ情報のインストール

Windows 95の場合

Windows 95に本機のセットアップ情報をインストールします。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニター」、「変更」の順にクリックする。
   デバイスの選択画面が表示されます。
5. 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
6. 表示された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
7. 本機が表示されていることを確認して、「更新」をクリックする。
8. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
9. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows 98の場合

Windows 98に本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度2.から操作してください。
6. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 に本機のセットアップ情報をインストールし、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
    「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

Windows Me の場合

Windows Me に本機のセットアップ情報をインストールし、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

Windows XP の場合

Windows XP に本機のセットアップ情報をインストールし、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。
1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
3. クラシック表示にする。
4. 「画面」をダブルクリックする。
5. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら、「一覧または特定場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
「Windows ロゴテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
11. モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

■ ICC プロファイルのインストール

本機の ICC プロファイルをインストールします。
（セットアップ情報をすでにインストールしている場合は、プロファイルも同時にインストールされていますので、この操作は不要です。）
CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。
1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」の順にクリックする。
5. 「全般」をクリックし、「互換性」内の「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選び、「色の管理」をクリックする。
6. 「追加」をクリックし、ファイルの場所を CD-ROM にする。
7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、「追加」をクリックする。
8. プロファイルを選び、「既定値として設定」をクリックする。
9. 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。
10. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

※ ICC プロファイルを使用する場合は「色温度」を「標準」に設定してください。

VESA 規格準拠アームの取り付け方

VESA 規格に準拠した市販のアームを取り付けることができます。アームはお客様でご用意ください。

※ 本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。
- VESA 規格に対応し、本機に取り付ける部分のネジ穴間隔が 75mm × 75mm のもの
- 本機を取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

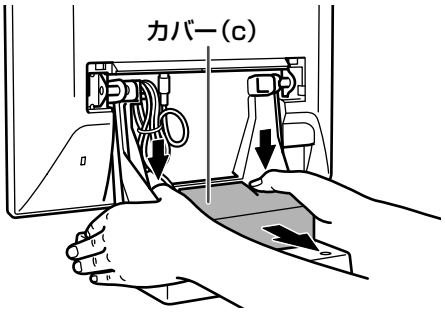
※ 本書とともに、アームに付属の説明書もよくお読みください。

⚠ 注意 指をはさんだり、スタンドを落としたりしないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

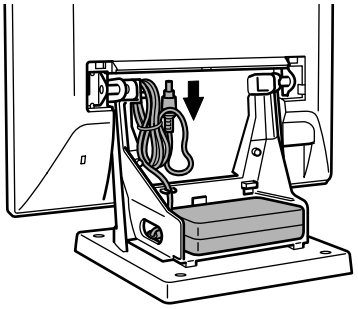
1. 背面のカバーを外す。
7 ページ「シリアル接続ケーブルの接続 (タッチパネル用)」の手順 1 ～ 3 をご覧ください。

2. アナログ信号ケーブル、シリアル接続ケーブル、オーディオケーブルを取り外す。

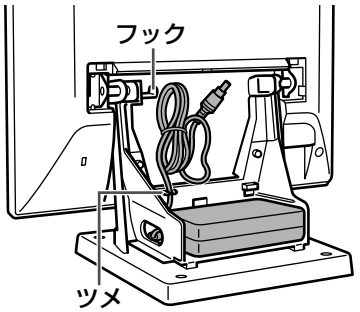
3. カバー (c) を外す。
カバー奥の両側を押さえながら、静かに手前に引きます。



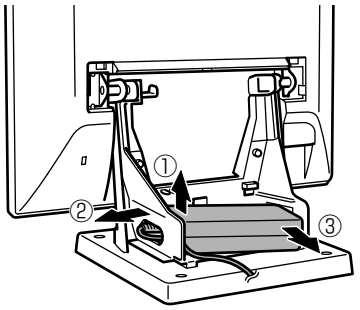
4. AC アダプターをスタンドから取り出す。
プラグを電源端子から抜きます。



コードをフックとツメから外します。

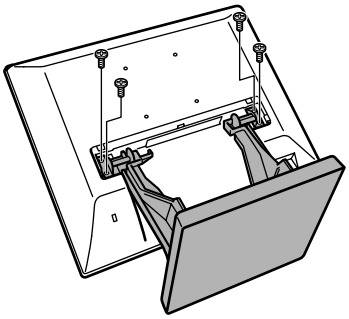


コードの付根部分を持ち上げながら穴のほうに寄せ、片方を静かに手前に引きます。



5. 柔らかい布などを水平なところに敷き、本機の表示部を下向きにして静かに置く。

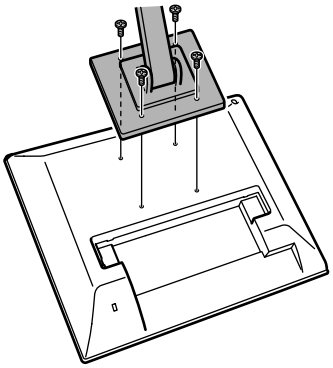
6. ネジ（4本）を外して、スタンドを取り外す。



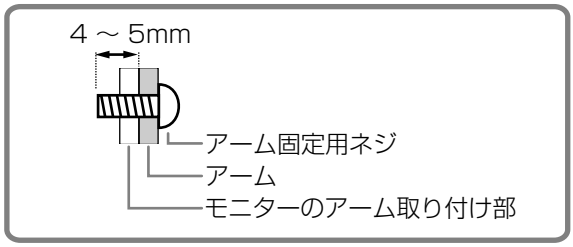
※ スタンドは本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。

※ 取り外したネジは、スタンドとともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因になります。

7. アームをネジ（4本）で固定する。



※ 固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが4～5mmのM4を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、モニター内部の破損の原因になります。

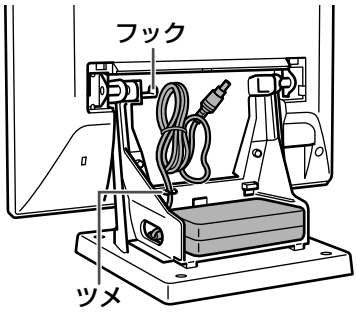


? Memo

※ 再度スタンドを使用し、ACアダプターをスタンド内に収納するときは、手順4を逆の順に行います。その際、下記の点にご注意ください。

・コードをツメに通してください。

・コードを束ねてフックに引っ掛けてください。



・カバー取り付け時、ケーブルをはさまないでください。

●製品についてのお問い合わせは‥			
お客様相談センター	東日本相談室 西日本相談室	TEL 043-299-8021 TEL 06-6794-8021	FAX 043-299-8280 FAX 06-6792-5993
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　(年末年始を除く)			

●修理のご相談は‥	19ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

●シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/crisia/

(2004年7月現在)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

04H　　DSC1
TINSJ1062MPZZ ①